

TOPICS 01

「すべては生産者と生活者のために」という経営理念のもと、2019年から始まった農場研修（農業リサーチプロジェクト）。研修現場をレポートしました。



実際に生産の現場を体感して、 国産青果をさらにサポートしていく。

イーサポートリンク株式会社 嶋村尚紀



食 産業学部を卒業した私は、「すべては生産者と生活者のために」という会社の経営理念に共感して2014年にイーサポートリンクに入社しました。BPOグループに所属し主に輸入青果の入荷から出荷までの調整業務を行っていましたが、2019年から会社が農場研修の取り組みをスタートさせたことで、国内の生産者をサポートするためにもっと現場を体感して理解したいと考え、応募しました。農業の現場に出てから2ヶ月ほどですが、慣れない作業の連続です。しかし、生産者が日々どのような思いで作業を行い、どのような課題を抱えているのかを肌で感じることができ、非常に有意義な体験となっています。あまり役に立っていない部分もまだまだありますが、これからさらに深く現場で働く方々を知り仕事を学んで、生産者をサポートしていきたいと思っています。



農業の現場を知ってもらうことは、 とても有意義で大切なこと。

株式会社オーガニックネットワーク 代表取締役
石井宏治 氏

私 は2009年に有機農業を始めました。当初より農業ビジネスについて学びたいと勉強会に参加していたのですが、その際に講義をされていたのがイーサポートリンクの堀内信介社長でした。それをきっかけにいろいろと学ばせていただくようになりました。堀内社長をはじめイーサポートリンクは、とにかく青果に関する情報を豊富に持ち、さらに農業の未来に対するビジョンも強くあって、さまざまなことを学ばせていただきました。その中で弊社が一緒させていただくようになったのが、実際に圃場での作業を体験してもらうというイーサポートリンクの新入社員研修でした。多くの社員の方々に農業の現場を体験いただきましたが、その研修がさらに専門的かつ進化したのが、この農場研修です。イーサポートリンクの社員の方が、長期にわたって住み込みで農作業を朝から晩まで行うという、とても珍しい研修制度です。嶋村さんも作業はほぼ初体験という

ことで、最初は慣れない作業に戸惑っていたようです。しかし日本の農業を良くしたい、生産者の役に立ちたいという思いが強く、コミュニケーション力もつき、どんどん成長していきました。この農場研修を通して現場を体験してもらうことは、非常に有意義なことです。一緒に汗を流して成長してもらうというだけでなく、私たちや農業のことを理解してもらうことで、これからのイーサポートリンクのより良い農業支援にもつながっていくのだと思います。

